

2022年度 事業報告書

2022年 4月 1日から 2023年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 アジア・アパレルものづくりネットワーク

1 事業の成果

当法人は設立から12年を経過し着実に活動を積み重ね、13年目に入ろうとしています。この1年間は新型コロナウイルス感染症が3年目に入りしつこく、なかなか収束せず、1年を通して事業活動は大きな影響と制約を受けました。コロナ感染は第7波、第8波へと続き、この1月頃ようやくピークを迎え、マスク着用ルールも緩和されることになりました。こうした中、アパレル業界はコロナ感染の終息に向けた流れの中で、マーケットの回復の期待感から生産調整による品薄の解消のため大きな仮需が生れ、アジア各地の日系生産工場はフル稼働の状況へと激変してきています。ただ国際物流コストの上昇、アジア各地のコストアップ、日本国内での納品のコストアップなど価格転嫁に至らず、経営環境の改善にはまだまだ大きな隔たりがあるかと思えます。ロシアのウクライナ侵攻、ミャンマークーデター後の混乱など幾多の複雑な要因が発生し、国際的な状況は一向に好転せず、経済的にも厳しい状況が続くと思われます。生産のフル稼働の状況を如何に利益につなげ、各社の生き残りに寄与出来るか、油断のならない状況が続くと思われます。そうした中で、海外生産企業の全国的な唯一の団体として、内閣府認証NPO法人 アジア・アパレルものづくりネットワークの継続と業界への貢献が望まれているところです。

◎総会・例会について

4月27日通常総会・第65回例会

4月27日の通常総会は、メルパルク東京において、開催しました。総会は33人が出席し、オンラインにて12名が参加しました。委任状は13通あり、総会として成立し、第1号議案2021年度事業報告書案、2021年度活動計算書案について承認を頂きました。引き続き第2号議案2022年度事業計画書案、活動計画書案を審議、承認をいただきました。

第65回例会は、スタディミーティングでは

経済産業省生活製品課長永淵剛課長をお招きし、『人権デューデリジェンスの指針策定で目指すものは何か』と題し、ご講演をいただきました。出席46名、オンラインで25名、合計71名が参加しました。経済産業省の人権デューデリジェンスの取組みはその後8月の指針策定となり、今後、人権デューデリジェンスの課題は避けて通れない問題となりました。

交流会では、

(株)ファッションクロスフルシマ古島社長の事業紹介、株式会社セントラルインシュアランス林社長から技能実習生の受入れ状況について詳しく説明があり、(株)小島衣料 石黒社長からフィリピン工場の状況、丸久(株)平石社長からバングラデシュ工場について、欧米からの受注激減など近況を詳しくお話いただきました。

6月23日第66回例会は、

メルパルク東京にてハイブリッド型例会として開催しました。オンライン参加含め48名の方が参加しました。

スタディミーティングでは、

(株)ナカノアパレル代表取締役副社長中野一憲様に、『サステナブル工場を目指して』と題し、ご講演いただきました。中国工場、国内では米沢に新鋭工場の開設、昨年11月にはベトナム・ダナン省のサステナブル工場の開設へと意欲的な事業展開が注目されています。

交流会は、

秋田丸善繊維(株)竹村周夫社長より国内の生産キャパが減少していること、技能実習生も 50 歳代となっていること。(株)奥田縫製 奥田武彦社長より、ミャンマーは受注回復しても生産キャパを元に戻せない、国内は実習生が入ってこない、などの話が出ました。

8月25日第67回例会は、

メルパルク東京において、ハイブリッド型例会として開催しました。オンライン参加含め 52 名の方が参加しました。

スタディミーティングでは、

フレックスジャパン(株)代表取締役社長矢島隆生様に『わが社のサステイナブルの取組みについて』と題し、ご講演いただきました。海外生産の実績もあり、インドネシア、バングラデシュにも人脈が広がっており、シャツ生産のトップメーカーとして大変参考になるお話でした。

交流会では、

受注状況が改善してきているのは、今まで作っていなかったことが要因。中国ゼロコロナ政策により ASEAN へ回っている。国際物流のコストが下がってきているが、高止まりの状況。電力不足で自家発電機の燃料の確保で四苦八苦している。工場現場ではまだまだ混乱収まらない、など、現場からの多くのお話を聞くことが出来ました。

10月27日(木)第68回例会は、

メルパルク東京において、ハイブリッド型例会として開催し、オンライン参加含め 52 名の方が参加しました。

スタディミーティングでは

『AAP 討論会第2弾 パネルディスカッションを行いました。コーディネーターは(株)サンテイ常川社長、パネラーは(株)小島衣料石黒社長、湯峰ソーイング(株)政井社長、(株)ファッションクロスフルシマ古島社長、(株)ナカノアパレル中野副社長の皆様に努めていただきました。

交流会では、

ミャンマーはチャット安と燃料代などの輸入コストの上昇で相殺されてしまっていること。国際物流のコストアップで利益が飛んでしまっていること。商船3社の利益は2兆3千億円も出している、食われた格好だ。欧州向けの受注減少で、ベトナムでは1000人規模の工場ですトラが進行している。バングラデシュは欧州が激変し、日本向けが増えていることなど、多くの現場からのお話が出ました。。

12月8日、第69回例会は、

メルパルク東京にて、ハイブリッド型例会として開催し、46 名の方が参加しました。

スタディミーティングでは、

バイオワークス(株)SCM 開発リーダー中村直人様に『わが社のサステイナブルへの取組みと新素材のご紹介』と題し、ご講演いただきました。植物由来のポリ乳酸素材の可能性について大いに学ばせていただきました。

交流会では、

OMP 宮崎社長より今回の展示会の構想についての説明がありました。11月30日のJIAM展でのパネルディスカッションの報告もありました。EXPO 展示会、中国系が来ないので、ミャンマー、ベトナム工場に人が集まっている。脱中国は副資材企業にとっては厳しい。国際物流は値下げ、値下げで少しずつ正常化してきている、などの話が聞けました。

2022年2月15日、第70回例会は

メルパルク東京にて、ハイブリッド型例会として開催し、オンライン参加含め 48 名の方が参加しました。

スタディミーティングでは、

JUKI(株)スマートソリューションカンパニー丸野靖則次長様、楠見主事様に『2022 JIAM 展から見たものは?— JUKI Sewing LAB、KUROTO、ミシン点検サポートシステム、e ラーニング、

設備稼働管理システムなど 注目点一挙ご紹介』と題し、ご講演いただきました。以前の縫製能率研究所の管理職養成コースをeラーニングとしてデジタル化されており、メンテナンスにおいても他社の縫製機器も含め、多言語化されていて、大変な進歩が伺える内容でした。

交流会では、

OMP 宮崎社長より、展示会 1 か月前の準備状況についての報告、常川代表理事からは J-クオリティでのイタリア・ピッティ出展の報告がありました。また、欧米向けの工場がバタバタと倒産していること、3 月～5 月の閑散期がなく、どこも一杯になっている、ベトナムの工場は、同じく倒産していて、仕事のある工場に人が移っている。コロナ前より 200 人増えた。などの情報がありました。

◎2023JIAM 展 パネルディスカッションへの出演

11 月 30 日 大阪にて開催された 2023JIAM 展のパネルディスカッションに出演しました。コーディネーターは(株)サンテイ常川社長、パネラーは(株)小島衣料石黒社長、湯峰ソーイング(株)政井社長、(株)ファッションクロスフルシマ古島社長、(株)ナカノアパレル中野副社長の皆様に努めていただきました。前日にリハーサルも行い、内容的に充実したパネルディスカッションとなりました。海外で健闘している日系のアパレル生産企業の姿を拝見していただけたと思います。

◎「2023AW AAP 展示会」は、

テーマ“CONNECT&SPREAD”として企画しました。出展参加 10 社、コラボレーション参加 3 社、協賛参加 8 社、合計 21 社が参加しました。来場者は昨年より、実質的に 68%の伸びとなり、合計 330 名の方が来場され、無事に開催できました。

コラボレーション参加、出展参加、協賛参加に関わらず、皆さまにご支援いただき、開催出来たこと、ありがとうございます。

なお今回の展示会も、(株)オーダー・オブ・メイト・プランニング宮崎社長の継続開催の強い意欲により実現出来たと思います。深く感謝申し上げます。

出展各社の意欲的な企画、アイデアも出てきており、来場いただいたアパレル、商社などの取引先へのアプローチを積極的に行い、成約に結び付くことを祈念しております。

◎情報発信について

さらに、ホームページの閲覧者はこの 1 年で 2,557 人となり、累計 3 万 9,170 人となりましたが、大きく伸びるに至りませんでした。活用方法に改善が必要と思われます。

小島代表理事による短信は、引き続き大事な情報発信となっています。

ホームページを活用する方向性を出していくことも必要かと思います。空きスペースを使って、各社のホームページに繋がっていくことや、求人、求職のステーションになれないかも検討課題です。

会員様からいただいた情報を他の会員様にお届け出来れば AAP の役割を一つでも果たせるかと思っています。

◎会員状況

これらの活動によりアパレル業界では法人としても定着してきています。海外縫製の同業者の集まりは、アジア・アパレルものづくりネットワーク 1 団体のみです。

会員数は正会員 1 増 30 社、協力会員 15 社、特別協賛会員 13 社 合計 58 社となりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 時 日 時	実 施 所 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 数	支出額 (円)
① アパレル 業界との 交流事業	第65回例会 経済産業省生活製品課長 永淵剛様講演・アパレル業 界交流会	4月27日	メルパルク 東京 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 71人	81,763
同	第66回例会 (株)ナカノアパレル 中野副社長様講演・アパレ ル業界交流会	6月23日	メルパルク 東京 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 48人	154,825
	第67回例会 フレックスジャパン矢島隆 生社長様講演・アパレル業 界交流会	8月25日	メルパルク 東京 (最終) オンライン	1人	アパレル業界 関係者 52人	130,350
	第68回例会 AAP 討論会第2弾・アパレ ル業界交流会	10月27日	今回より チサンホテ ル浜松町 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 52人	217,300
同	第69回例会 バイオワークス(株)中村直 人様講演・アパレル業界交 流会	12月8日	チサンホテ ル浜松町 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 46人	140,000
同	第70回例会 JUKI 丸野次長、楠見主事 様講演・アパレル業界交流 会	2月16日	チサンホテ ル浜松町 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 48人	166,300
② 海外視察 事業	アジア各地でのコロナ収束 はまだ先のように思われる ので、海外視察ツアーは見 送りました。	なし			なし	0
③ 情報を提 供する事 業	ホームページを開設し、 アジア各地の最新情報を提 供する 東南・南西アジア短信 小島代表理事執筆 2022年度 N08～47 2023年度 N01～N04 合計 44 回配信	通年	事務局	2人	不特定多数 閲覧者 約 2,557人	350,592

④	「アパレルものづくり大賞」事業	無し					
	アジアへの進出を支援する事業	第 65 回例会 スタディミーティング： 【講演】：『人権デューデリ ジェンスの指針策定で目指 すものは何か』 講師：経済産業省生活製品	4月27日	メルパルク 東京	1人	アパレル業界 関係者 71人	6,480
⑤	同	第 66 回例会 スタディミーティング： 【講演】：『サステナブル 工場を目指して』 講師：(株)ナカノアパレル中 野副社長	6月23日	メルパルク 東京	1人	アパレル業界 関係者 48人	52,160
	同	第 67 回例会 スタディミーティング： 【講演】：『わが社の SDGs の取組みについて』 講師：フレックスジャパン矢島 隆生社長	8月25日	メルパルク 東京	1人	アパレル業界 関係者 52人	52,160
	同	第 68 回例会 AAP 討論会第 2 弾 ★テーマ：『アジア・アパ レル最前線― 日系縫製企業 10 年間の戦いとこれから』 ★コーディネーター 常川雅通： (株)サンデイ社長	10月27日	チサンホテ ル浜松町	1人	アパレル業界 関係者 52人	22,380
	同	第 69 回例会 スタディミーティング： 【講演】：『わが社のサステ イナブルへの取組みと新素 材の開発』 講師：バイオワークス(株)中 村直人様	12月3日	チサンホテ ル浜松町 オンライン	1人	アパレル業界 関係者 46人	120,320

同	第70回例会 スタディミー 【講演】:『2022 JIAM 展から見たものは?』 講師:JUKI 丸野次長、楠見主事様	2月24日	チサンホテル浜松町 オンライン	1人	アパレル業界関係者 48人	7,472
同	2022JIAM 展パネルディスカッションに出演 ★テーマ:『アジア・アパレル最前線— 日系縫製企業10年間の戦いとこれから』 ★コーディネーター 常川雅通:	11月30日	大阪 INDEX	6人	アパレル業界関係者約 200人	0
アジア各国における国際協力の事業	特に予定無し					
⑥ 雇用及び人材の発掘を支援する事業	特に予定無し					
⑦ アジア各国における職業教育を支援する事業	特に予定なし					
⑧ アパレル商品などの生産、技術開発、商圏	AAP 2023 SS-AW 展示会	3月15～17日		事務局 30人	アパレル業界関係者 330人	3,478,531

⑩	アパレル業界を活性化するためプラットフォームを構築する事業	多言語翻訳ソフト（SpecTran）の紹介	通年		事務局 1 人	アパレル業界関係者 多数	303,600
	その他目的を達成するための事業	特に予定なし					
⑪							